

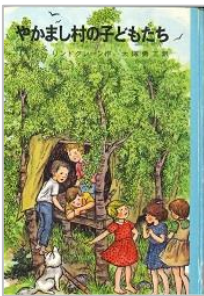
よんだほんの☆をぬろう。

なんこ☆がぬれたかな？



コ

2020.12 発行



『やかまし村の子どもたち』

アストリッド・リンドグレン//作
大塚 勇三//訳
岩波書店
☆☆☆

やかまし村は家がたった3げんで、子どもは男の子3人と女の子3人。6人はいっしょに遊んだり、男の子組と女の子組ではりあったり、いつもにぎやか。そんな6人のゆかいな毎日が、7さいの女の子リーサの語りを通してえがかれています。

(シリーズあり)

【豊岡市推薦図書】



『あいつとぼく』

辻村 ノリアキ//作 羽尻 利門//絵
PHP 研究所
☆☆

豊岡市立図書館



『時計つくりのジョニー』

エドワード・アーディゾーニ//作
こぐま社
☆☆

『ともだち』

谷川 俊太郎//作 和田 誠//絵
玉川大学出版部
☆☆

【豊岡市推薦図書】



～テーマ別ブックリスト～

友だちっていいね

【3・4年生】

『シェーラひめのぼうけん 魔神の指輪』

村山 早紀//作
童心社
☆☆



シェーラひめが住むシェーラザード王国は、ある日わるいまほうつかいのサ우드によって国中が石にかえられてしまいました。シェーラひめは、みんなを元にもどすため、弱気なまほうつかいのファリードたちといっしょにぼうけんの旅に出かけます。(シリーズあり)

『チム、ジンジャーをたすける』

エドワード・アーディゾーニ//作
福音館書店
☆☆



チムは、マクフィーせんちょうにさそわれて、船にのりこむことになりました。そこで友だちになったのは、ジンジャーという男の子。なまけものでいたずらなジンジャーは、ある日、こうかいしの毛はえ薬を全部使ってしまい、大変なことに。そのせいで、かんぱんの上のポートの中にかくれてしまいました。そんな時、ふねがあらしにおそわれて…。小さいけれどゆうかななチムが海の上であう、ハラハラドキドキ連続のぼうけんものがたりです。

そのほかの「チムシリーズ」

- 『チムとゆうかななせんちょうさん』
- 『チムとルーシーとかいぞく』
- 『チムとシャーロット』
- 『チムききいっぱつ』
- 『チムひとりぼっち』
- 『チムのいぬタウザー』
- 『チムひょうりゅうする』
- 『チムとうだいをまもる』
- 『チムさいごのこうかい』
- 『コックのジンジャー』

『ともだちは海のおい』

工藤 直子//作
理論社
☆☆



おちゃの好きないるかとビールの好きなくじらがともだちになりました。いっしょにさんぼしたり、読書をしたり、手紙のやりとりをしたり。コドクが好きないるかとかくじらの友じょうの物語。

3年生国語の教科書でしかい

『かおるのたからもの』

征矢 清//作
あかね書房
☆☆



かおるは杉田くんから借りていた本を返せないでいました。おとうさんがその本にクレヨンでいたずらをしてしまったからです。その本は杉田くんがとても大事にしている本です。かおるは何とか元にもどすいい方法はないかと考えるのですが…。

『木かげの家の小人たち』

いぬい とみこ//作
福音館書店
☆☆☆



『かんぱんへんりーくん』シリーズ
「ゆかいなへんりーくん」シリーズ
ヘンリー・クリアリ//作
学研プラス
☆☆☆
へんりーくんは小学3年生。どこにでもいるごくふつうの男の子。だけど、へんりーくんのまわりには、ゆかいなドタバタいっぱい！シリーズを通してへんりーくんの成長も見えます。



山口にひっこしたえりは、よこはまにいいエミと手紙のやりとりをしています。なかみはたのしいことばかりではなく、心がモヤモヤするようなこともあります。手紙のなかでふたりやまわりのせいちょうかがえがかれています。



村中 李衣//作
偕成社
☆☆

『あらのはたけ』

『魔女ジェニアとわたし』

岩波書店
☆☆☆

E.L.カニズバーグ//作 松永 ふみ子//訳



ジェニアは自分をまじよだといふので、エリザベスはまじよ見習いになり、二人はひみつのぎしきをはじめます。まず、第一週は「毎日またまたまじよをたべると」。エリザベスは本物のまじよになれるのでしょうか。

(シリーズあり) 【豊岡市推薦図書】

『長く下のピット』アストリッド・リンドグレン//作
大塚 勇三//訳
岩波書店
☆☆☆
ピットは9さいの女の子。サルの子。サルの子。サルの子。ピットは馬といっしょにくらしています。ピットはすごい力もちで、馬をもち上げたり、サーカスのだいいきアドルフをなげとばしたり、また、小さな男の子をちんちんから助けたりもします。ピットがまきおこすできごとを、そこめけに明るく、ユーモアたっぷりにえがいたお話。

